

遺伝資源を用いた国際共同研究の 進め方ーカンボジアの事例ー



国際間で、遺伝資源を用いる国際共同研究は重要です。
このセミナーでは、カンボジアとの国際共同研究の事例をご紹介します
とともに、国際共同研究の海外のガイドラインをご紹介します。

日時

2025年**2月6日**（木） 14:00-15:30

会場

東京農工大学農学部2号館1階
多目的教室（東京都府中市幸町3-5-8）

プログラム

開会挨拶

講演1：カンボジアとの遺伝資源分野の国際共同研究について
(International collaborative research with Cambodia
in the field of genetic resources)
カンボジア環境省生物多様性局 副局長 **ヨーク・ソテアリット**

講演2：植物間相互作用関連生理活性物質の国際研究
鯉淵学園農業栄養専門学校 教授（東京農工大学名誉教授） **藤井 義晴**

講演3：国際共同研究の契約・海外ガイドラインの事例紹介
国立遺伝学研究所 ABS支援室 室長 **鈴木 睦昭**

質疑応答
閉会挨拶

参加登録

参加人数を把握するため、
右のQRコードよりご登録下さい。

使用言語

日本語・英語。
同時通訳はありません。

■主催：国立遺伝学研究所
ABS支援室 (abs@nig.ac.jp)
■共催：東京農工大学

